



1. 安全教育の取組

＜はじめに＞ 安全確保のために必要な知識・行動を理解し、生命尊重や安全な生活を送る基礎を培い、安全で安心な社会づくりに貢献できるようにすることを目的に以下の取組を進めてきました。

＜取組＞



登下校指導

(1) 登下校指導 <4/9~11>

年度始め、本校職員で校舎西側・北側・南東側の道路の交差点や横断箇所等で交通指導を行いました。（町内会の方には毎日見守っていただいています）



自転車点検

(2) 自転車点検 <4/16>

全国的に事故の多い自転車の使用についての指導と、点検を実施しました。



自転車点検

(3) 避難訓練 <5/20, 9/9, 11/25>

様々な状況下で、避難経路や「危険を予測し、回避する」行動を確認しました。



SNS教室

(4) SNS教室 <7/18, 12/19>

本校職員や勝毎デジタル担当職員を講師に、情報リテラシーを身につけ、リスク回避や賢い扱い方について考える学習を実施しました。



地域探索

(5) 防災学習 <10月~12月>

地域の方と、学年毎のテーマで、
① 1年「地域探索」（10月15日）、
② 2年「避難所設営」（12月3日）、
③ 3年「避難所運営」（11月26日）
を実施し、地域の中での役割について考えを深めました。



避難所設営

(6) いのちの学習 <7月~12月>

市民福祉部職員を講師に「多様な性」についての学習(7月19日)、助産師を講師に「生と性」についての学習(9月6・12日)を行いました。思春期の心と体について学習し、命の尊さについて考えました。



避難所運営

(7) 薬物乱用防止教室 <3月予定>

講師を招いて、3年生を対象に薬物の恐ろしさや、忍び寄る誘惑から自身を守るための学習をします。



いのちの学習

＜本校の特色として＞

(5) 防災学習 「災害時 "地域の要" になることを願って…」

「危険から身を守る」学習から、「地域のためにできること」を深く考える機会にしています。



探索のねらい



地域探索



避難所設営



使い勝手の確認



地域の方とHUG



対話で合意形成

① 1年「地域探索」<10/15>

災害時に必要なものや施設などを探し出すウオークラリー「防災フォトスカベンジャーハント」を実施。振り返りでは、災害時に危険になる物や場所、防災の機能があるもの、工夫することで被災時に活用できるものなど、「多くのことに気づいた」という感想が寄せられました。

② 2年「避難所設営」<12/3>

連合町内会の皆さんと体育館に避難所を設営。班に分かれて、テントや段ボールベッド、仕切りなどを組み立て、利用しやすい工夫などを考えました。その他、給水、発電、負傷者運搬などを体験し、生徒からは「地域の皆さんと顔見知りになれたので、被災時に協力できそう」という感想が寄せられました。

③ 3年「避難所運営」<11/26>

連合町内会の皆さんと「HUG」を使って、避難所運営のシミュレーションを実施。刻々と変化する状況下で、様々な避難者（子ども、老人、妊婦、けがや持病のある人、ペット、発熱者など）ができるだけ快適に過ごせる方法について考えました。「地域の皆さんと知恵を合わせれば色々なことができそう」という感想が寄せられました。

(6) いのちの学習 「自分を守り、相手を守り、命を守る」

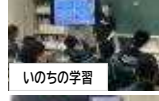
「多様な性、思春期の心と体」への理解を通して、「いのちの尊さ、責任」について深く考える機会にしています。



LGBTQ学習



助産師の講話



いのちの学習



いのちの学習

① 「多様な性」の学習 <7/19>

性の多様性、当事者の悩みについて学習。振り返りでは、「多様性を認め合うこと」、「人権の大切さ」、「悩んでいる人に自分ができることは何か」などについての感想が寄せられました。

② 「生と性」の学習 <9/6・12>

「いのちの誕生の奇跡」、「思春期の心と体」、「望まない妊娠や性感染症」、「避妊」、「デートDV等の性暴力」、「SNSの正しい選択」について学習。振り返りでは、「親への感謝」や「性暴力や嫌な思いをなくすためにどうしたらいいか」、「SOSの出し方」、「悩んでいる人へのサポート」などについての感想が寄せられました。

＜成果＞

- 学習を通して、「今だけ、自分だけ」ではなく、「これから、みんなも」幸せに生活するために、「自分にできることは何だろう」と考えている感想が多く寄せられました。
- また、困ったときには相談する勇気が大切で、相談できる窓口が沢山あることを知り安心したという生徒も多くいました。
- ※ 今後も、さらに工夫しながら、取組を継続していきたい。

<お願い>

年度末を迎え、この一年間の本校の取組をご報告いたします。

紙面が細かく申し訳ありません。可能な限り目を通していただけるとありがたいです。

できれば、全家庭から、取組についての評価をいただき、その結果を今後の学校経営の充実に生かしたいと考えております。別紙にて、学校評価へのご協力をお願いいたします。

2. 学力向上を目指して

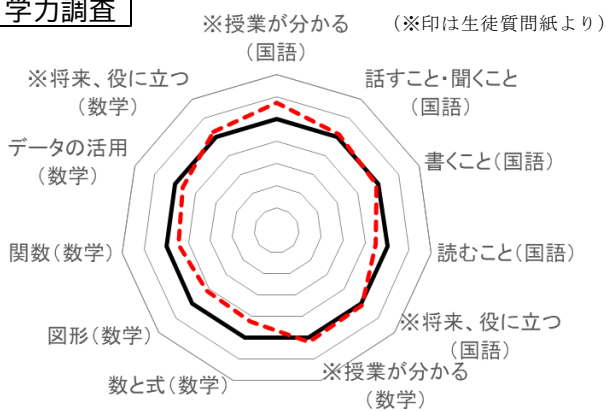
学ぶ人

<全国学力・学習状況調査>

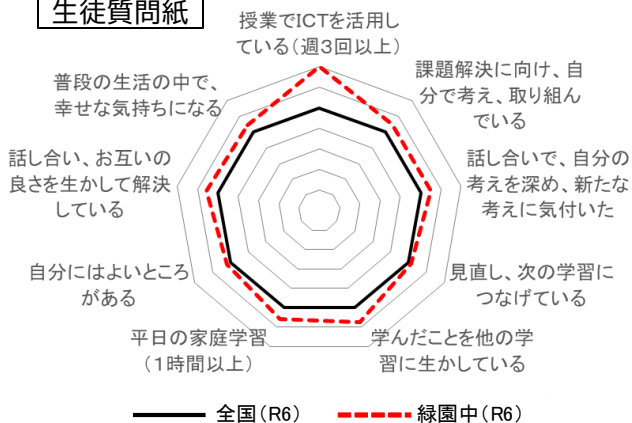


4月18日、3年生を対象に
国語・数学を実施しました。

学力調査



生徒質問紙



国語

- △ 平均正答率が全道・全国を下回っている。
- 話し合いの中で、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することが、全道・全国を大きく上回っている。
- 話し合いの中で、資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことが、全道・全国を大きく上回っている。
- △ 本文を読んで、文書と図を結び付けて内容を解釈することや、必要な情報に着目して要約することに課題が見られた。

数学

- △ 平均正答率が全道・全国を大きく下回っている。
- 簡単な場合について、確率を求めることにおいて、正答率が全道・全国を上回っている。
- 授業で学習したことは、将来、役に立つと考えている生徒が多く、今後の学習で活用しようという意識が、全道・全国を上回っている。
- △ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られた。

生徒質問紙

- 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりできたと感じている生徒の割合が、全道・全国を大きく上回っている。
- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた生徒の割合が、全道・全国を大きく上回っている。
- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かそうとしている生徒の割合が、全道・全国を大きく上回っている。
- 授業でのICT機器の活用頻度が高く、(1)自分のペースで、(2)分からないことを調べて、(3)楽しみながら学習している生徒の割合が、いずれも全道・全国を大きく上回っている。

生徒の変容とその後の取組について

○ 生徒質問紙より、課題解決に向け主体的に取り組む意欲が高まっていました。また、話し合う活動を通して、新たな考え方を理解し、自分の考えを深めたり、わかりやすく伝えたり、今後に生かそうしたりする意欲が高まっていました。朝学習や各授業、行事において、考えをまとめ、伝える活動を意図的に取り入れ、継続してきた成果と考えています。

△ 各教科より、本文の内容を解釈することや要約することにおいて課題が見られました。引き続き、思考力・判断力・表現力を高める対話活動を継続し、さらに、読解力を高める活動の充実を進めています。

※ 現在、以下の点について学校が取り組んでいます。

- ① 授業の中で、「考えの理由」を話したり、書いたりするアウトプットの時間を設けています。(知識をつなげる、自分の考えをまとめる)
- ② 朝読書の継続や読書の推奨、授業の中で本文の内容を解釈することや要約する活動を丁寧に行っています。
- ③ 週に1回、朝の時間をつかって「緑園タイム」(お題について自分の考えをもち、その理由をはっきりさせ、対話や文章にまとめる学習)を継続しています。
- ④ 指導工夫、授業改善、学習習慣の定着により、「できた」「わかった」喜びを感じる主体的な学びを目指しています。
- ⑤ チャレンジテストや学力テスト・定期テスト・標準学力検査等を活用しながら、短期間で検証・改善しています。

<取組> (1) 指導工夫で学びの充実へ

① 読書活動・対話活動



朝読書

<緑園タイム>

読むことの習慣化、落ち着いた日常を定着していく「朝読書」に加え、自分の考えをまとめ、伝える力を向上させる「対話活動」を朝の会の前に行ってきました。

② ICT活用



授業でのICT活用

<タブレットの活用>

大型モニターや、1人1台端末の活用により、個々の習熟度や興味に応じた学習を充実させるなど、効果的な指導工夫を進めてきました。

③ 授業サポート・試験前学習会



地域ボランティアの授業サポート

<授業サポート>

地域ボランティアが、火・水・金の午前中に、主に数学の授業サポートを行いました。教員が全体指導を行い、ボランティアが個別にサポートしています。

④ 長期休業学習会



夏休み学習会

<試験前学習会>

定期テスト前の2～3日間、放課後に実施しました。2学期末までで、のべ300名以上の生徒が参加し、教員や地域ボランティアに質問しながら学習を進めていました。

<長期休業の学習会等>

以下のイベントには、地域の高校生(大谷・白樺・南商・三条・柏葉)や畜大生、地域ボランティア(全イベント合計のべ70名)が協力してくれました。

<学習会> 夏: 7/24-26 冬: 12/25-27

参加者(のべ68名)は、宿題や課題、eライブラリー、入試対策などに取り組みました。「静かな雰囲気で集中できた」などの感想が寄せられました。

<お花教室> 夏: 7/25 冬: 12/25

地域ボランティアを講師に、参加者(のべ115名)は思い思いに「夏の花」「お正月飾り」をアレンジしました。

<実験教室> 夏: 7/26 冬: 12/26

夏はブタの眼球解剖実験、見え方実験を実施し、冬は岩石表本づくり、ウシの生殖器解剖実験、遺伝のしくみや性周期について学習しました。十勝の歴史や畜産業、食文化についても学習を深め、参加者(のべ74名)は興味津々な面持ちで取り組んでいました。

(親子お花教室)



夏のお花教室



お正月飾り教室

(親子実験教室)



ブタ眼球解剖



岩石標本

人工授精



ウシ生殖器解剖

<成果>

- ボランティアのサポートにより、学習会や実験教室等が充実し、補充的学習や発展的学習の機会が増え、参加者も増えました。
- ※ 今後も、さらに工夫しながら、取組を継続していきたい。

(2) よりよい授業を目指して

研究テーマ「すべての生徒の well being を育む確かな学力の定着」～個別最適な学びと協働的な学びを用いた授業改善～を目指し、計画的に校内研修(教員や関係者による授業参観や協議)を行ってきました。

① 生徒指導の視点



「生徒指導視察」研修

<生徒指導の視点の研修> 5/20

生徒指導の視点(①自己存在感の感受、②共感的な人間関係の形成、③自己決定の場の提供、④安全・安心な風土の醸成)をいかに、生徒理解に基づく学習者主体の授業づくりを研究するため、生徒指導提議をもとにした学習会を行いました。

<ICT活用研修> 7/19

「授業におけるICTの効果的活用」について、外部の専門職員を講師に招き、先進校での取組や、様々なアプリの活用例を参考に、講話や演習を交えて研修を行いました。

<授業研究>

校内で計画的に全学年の授業研究を実施。10月11日はエリア公開研(開西小会場)、10月20日は指導主事を招き、研究授業と協議を行いました。ICTの活用、生徒指導の視点、効果的な対話をとり入れながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を用いた授業づくりを実現するため、積極的に外部の助言を活用しています。

<授業・生活学習アンケート> 学期毎生徒と教員から学期毎にアンケートをとり、定期的にと組を振り返って、授業づくりの参考にしています。

② ICT活用



「ICT活用」研修

③ 授業研究



「授業づくり」研修

④ 各種アンケートの用

1. 授業で「わかった」「できるようになった」達成感
国: 91% → 94% / 数: 94% → 94% / 理: 90% → 91%
社: 92% → 93% / 英: 91% → 92% (1学期 → 2学期)
2. 授業に「対話活動」があると、考えが深まる
全校: 97% → 97% → 97% (R5.12月 → 1学期 → 2学期)
3. 友達の話や意見を最後まで聞くことができる
全校: 94% → 96% → 98% (R5.12月 → 1学期 → 2学期)
4. 自分の考えや意見を発表することは得意である
全校: 56% → 62% → 64% (R5.12月 → 1学期 → 2学期)
5. 平日の家庭学習(1時間以上)
全校: 60% → 74% → 74% (R5.12月 → 1学期 → 2学期)

(3) 学習習慣の定着を目指して



自学ノート



学習の振り返り

<家庭学習の推進>

宿題や課題以外に、eライブラリーや自学ノートなどを活用しています。先生からの励ましや助言などで、多くの生徒が、工夫しながら粘り強く取り組んでいました。

<自らの取組への振り返り>

テスト計画表の振り返りや教育相談により、将来を見据え、自分を見つめる機会としていました。多くの生徒は、考えを整理し、自己決定して行動に責任や覚悟をもつようになりました。

「大人の学習会」(7/17)…講話を通して、学習環境づくりについて保護者の皆さんと学びました。

<成果>

- 授業づくりと、アンケートによる生徒からの評価、教員の自己評価を組み合わせることで、より効果的な取組の改善につながり、生徒の達成感が高い状態で維持できました。
- キャリア教育の視点で教育活動や教育相談を実施することで生徒は将来を見据え、主体的な取組へと変化していきました。
- ※ 今後も、さらに工夫しながら、取組を継続していきたい。

3. 体力向上を目指して 鍛える人

<全国体力・運動能力・運動習慣等調査>

昨年度（令和5年度）の結果は、

- 男女共に、筋持久力・敏捷性・全身持久力が高い。
- △ 男女共に、筋力・柔軟性に課題が見られた。
- 男女共に、運動が「好き」、「大切」と答えた生徒の割合は全国を上回り、体育の授業が「楽しい」、「進んで参加している」、「卒業後も運動したい」、「朝食を毎日食べている」生徒の割合は全国を大きく上回っている。（生徒質問紙より）

<取組> この結果をもとに、今年度（令和6年度）、主に以下の取組を実施してきました。

(1) 体育授業の工夫

効率的な体の使い方の指導や、基礎的な筋力を向上させる運動を取り入れ、運動量を確保した授業展開を行ってきました。



(2) 「対抗戦」の実施

体育祭や球技大会などの体育的行事を実施しました。（ホッケー大会は2月予定）生徒は様々な種目の特性や楽しさを味わい、対抗戦を通して仲間意識を高めていました。



【今年度の状況】新体カテストより（6月の2年生）

種目	体力要素	男子	女子
握力	筋力	△	△
上体起こし	筋パワー・筋持久力	○	△
長座体前屈	柔軟性	△	△
反復横とび	敏捷性	○	○
20mシャトルラン	全身持久力	△	○
50m走	疾走能力	○	△
立ち幅とび	筋パワー・跳躍能力	-	△
ハンドボール投げ	巧緻性・投球能力	○	-

※ R5の全国平均より高い○、同程度△、低い△

- 男女共通で敏捷性が高い。また、男子は筋持久力・疾走能力・投球能力、女子は全身持久力が高い。
- △ 男女共通で筋力・柔軟性に課題が見られた。また、女子は筋持久力・疾走能力・跳躍能力に課題が見られた。

【生徒の変容とその後の取組について】

※ 同一学年（現2年生が1年生の時）の比較では、男女共に柔軟性以外の体力が大きく向上し、特に筋持久力・疾走能力の向上が著しかったです。
令和5年度の結果にもあるように、運動への意識が高く、継続してきた取組(1)～(5)の成果と考えています。
引き続き取組を継続し、5月以降は(3)～(5)を充実させると共に、ケガ防止やパフォーマンス向上に不可欠な柔軟性について、高める大切さや方法を体育授業の中で指導しています。

(3) 日常的に運動し親しむ機会の設定



リンク



昼休み



部活

<運動施設の開放>

昼休みの体育館やグラウンド開放で、多くの生徒が楽しく汗を流していました。



リンク造成の様子→

<生徒会・保体委員会企画>

生徒会・保体委員会で交流会を企画し、昼休みに学年レクリエーションで楽しみました。

<部活動等>

目標に向かって挑戦し、日々汗を流している生徒がたくさんいます。

(4) 感染対策と教育活動の推進

昨年度、新型コロナウイルス感染症が5類に移行しましたが、様々な感染症の感染状況を注視し、その都度、市教委の指導・助言のもと教育活動を進めています。

(5) 望ましい生活習慣の定着

① 食育指導

栄養教諭による食育指導を通して、「食の大切さ」「規則正しい生活習慣」について学習してきました。



玄関前に設置

※食育掲示板・通信

食に関する情報発信や、質疑応答に活用してきました。

※「朝食レシピ」(1年)・「給食献立」(2年)への応募

昨年は、本校生徒のアイデアで、3年生(受検生)にエールを込めたメニュー「がんばり丼」と「ゴロゴロライス」が見事採用され、3月に提供されました。



シェフを講師に調理実習

※「調理実習」(3年)

北海道ホテル総料理長を招いて、「ポテトニョッキのクリームチャウダー」づくりに挑戦しました。「美味しい」と談笑し、受験勉強の合間の楽しい一時を過ごしていました。



地元食材の魅力を再発見

② 教育相談等

担任による生徒や保護者との教育相談、顧問による部活動指導等を通して、「栄養・休養・運動の大切さ」を保護者に協力していただきながら伝えてきました。



生活の振り返り

<成果> 振り返り・感想・生活学習実態調査（12月結果）より

- 体育の振り返りや行事の感想等を見ると、「楽しい」と感じている生徒が多い。目的をもって授業や行事に臨み、教え合ったり、協力したりして、達成感を得ていると考えています。
- 「朝食はほぼ毎日食べている」と答えた生徒の割合は 95%(前年比+3)、「ほぼ同じ時刻に寝ている」は 85%(前年比+2)でした。保健体育や食育指導等を通して、健康についての意識が高まっていると考えています。

※ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果は、後日報告します。

4. 豊かな心を育む取組 思いやる人

(1) 協動的な学びの充実



選手宣誓



ステージ発表



合唱コンクール



意見発表



ゴミ拾い登校



夏・冬休み学習サポート



地域探索



発電機の準備



避難所運営「HUG」

① 心のつながりを生む取組

・**体育祭「仲間とつくる感動」** <6/1>
「頑張ることは格好いい」「心一つに揃えることは素敵なこと」を体現し、仲間を励ます、健闘を讃え合う活動となりました。

・**文化祭「心一つに歌声響く」** <10/5>
「個性を輝かせるステージ発表」「心一つに揃える合唱」を通して、「揃えること・違えること」の意義を体現し、お互いが認め合い、表現力や情操を高め合う活動となりました。

② 思いを伝え合う取組

・**意見発表「私の思い 言葉のせて」**
夏休みに全校生徒で取り組み、学級発表、代表による学年発表、文化祭発表を行いました。疑問や葛藤に対して「自分や周囲はどうしたらよいか」を考え、自分たちのあり方や生き方を中学生の視点で発表し、思いを言葉で伝え合いました。 <8/30~10/5>

③ 「地域のためにできること」を考える取組

ボランティア活動

「いつもお世話になっている地域のために何かできないか」という思いのもと、生徒会主催でボランティア活動が行われました。

- 「ゴミ拾い登校」 <7/9~11>
- 「夏休み学習サポート」 <7/24~26>
- 「冬休み学習サポート」 <12/25~27>

・**防災学習「地域を守る要になる」**
地域の一員として、災害時に避難を呼びかけたり、避難所運営を積極的に手伝ったりして、多くの人の支えになれるように、3年間を通して学習しています。

- **1年「地域探索」** <10/15>
危険箇所や災害時に必要な施設などを探し出すウォークラリー「防災フォトスカベンジャーハント」を実施し、危険を予測し、対応を考える学習を行いました。

- **2年「避難所設営」** <12/3>
体育館にテントや段ボールベッド、仕切りなどを設置し、給水、発電、負傷者搬送なども体験。素早く組み立てる方法や利用しやすい工夫などを話し合いました。

- **3年「避難所運営」** <11/26>
避難所運営シミュレーション「HUG」を使って、様々な避難者やイベントにどう対応するか、話し合いながら、全ての人に過ごしやすい環境づくりについて考えました。

※ 連合町内会の皆さんと一緒に取り組むことで、顔見知りになることができました。



五稜郭見学



函館の夜景



手話教室



JICA



はぐくむ



帯広の森散策



企業のSDGsの取組



選挙講座



<成果> 生活学習実態調査 (12月結果) より

○ 「ものごとを最後までやりとげて、うれしかった」と感じている生徒の割合は、99%と高い。探究的な学習を通して、生徒たちは主体的に取り組み、成果を共有し、振り返って改善してきた成果と考えています。

※ 今後も、さらに工夫しながら、取組を継続していきたい。

④ 地域の教育資源を活用した学び

・**修学旅行** <5/8~11、報告会6/17>
事前学習と旅行、インタビューを通して、研修先(道南・道央)の歴史・文化・産業・魅力等について調べ、ふるさと帯広との違いや、帯広の良さの再発見し、帯広の未来について考えたことをまとめました。入念な準備と節度ある言動で、全員無事に旅行を終えました。仲間と協力しながら探究し、日頃の学びを修める(修学)旅行をみんなが主役となって作り上げました。後日、報告会を実施し、下級生に学習のまとめを発表しました。

・**おびひろ市民学「SDGs」** 他
～持続可能な社会のために～

■ **1年「手話教室」** <9/9>
「地域の大人にできること」をテーマに実施。様々なコミュニケーションがあり、お互いを尊重する大切さを学習しました。

■ **1年「SDGs学習」** <9/12~>
「持続可能な社会のためにできること」をテーマに地域や社会の未来に対して責任ある行動とは何かを考える学習を行いました。

① JICAで「国際協力」の学習
② 「はぐくむ」での講話や散策による「帯広の森づくり」の学習 <9/12>

③ 帯広市青年会議所から講師を招き、多くの企業がフードロスや環境問題などに対して、SDGsの取組を行っていることを学習 <9/13>

④ 帯広市都市環境部より講師を招き、SDGs学習のまとめとして「自分たちにできること」を交流 <9/25>

■ **2年「認知症ポスター養成講座」** <6/19>
地域包括支援センター職員が講師を務め、お互いを大切にすることや支え合うために、自分が出ることとは何かを考える学習を行いました。

■ **3年「帯広市の台所事情」** <7/5>
帯広市財政課職員を講師に招き、「帯広市のまちづくり」と「財政」についての学習を行いました。

■ **3年「選挙講座」** <9/9>
選挙の仕組みや模擬選挙を行い、主権者教育を実施しました。

■ **「キャリアパスポート」**
おびひろ市民学だけでなく、自分が残しておきたい記録(ボランティア、課外学習・体験など)をファイルにして、自分の成長を振り返るものになっています。

<成果> 生活学習実態調査 (12月結果) より

○ 「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった」と感じている生徒の割合は、93%と高い。生徒たちが協動的な学習を通して、多様な他者とよりよいものを作り出す楽しさや感動を共有してきた成果と考えています。

(2) 将来の自分の姿を考えるための取組

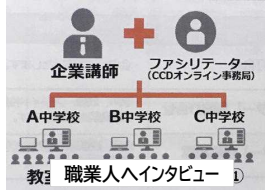
将来「自立し、幸せな人生を切り拓く」ための能力や心を培うために、生徒は多くの人と関わり、多くの経験を重ねながら、自分の生き方を考えていました。日々の授業や学級・生徒会活動に加え、部活動、ボランティア活動、防災学習、進路学習、スポーツ大会、教育相談などを通して、生徒は将来の生き方の刺激を受けていました。取組の一部を紹介します。



部活動壮行会



未来創造授業



職場体験



職場体験



職場体験



学科説明会



高校授業体験



マナー教室



高校生からのプレゼン

① 進路学習

■ 1年「職業人に聞く」

・「未来創造授業」〈10/23〉
帯広青年会議所より様々な職種の方を講師に招き、働く意義や必要な資質・能力、好きなことをどう将来に活かすかなどのお話をいただきました。

・「職業人ヘインタビュ」〈12/4〉
本州の企業や中学校とオンラインでつなぎ、各業種の講話やインタビュー活動を通して、職業観や生き方を考える学習をしました。

■ 2年「職場体験」〈9/19~20〉
近隣の28事業所に協力をいただき、2日間の職場体験を通して、働く意義や職業観について学びを深めました。どの事業所も温かく受け入れてくれ、生徒は感謝も含め、体感したことを後日のまとめ、交流しました。

■ 3年「上級学校説明会」〈7/1~4〉
近隣の高校(7校)が来校し、説明会を行いました。各校・学科の特色や進路、学校生活など、動画やスライド等で説明を受け、質問等により自らの進路選択に必要な情報を集めました。

■ 3年「上級学校体験」〈11/11~12〉
近隣の高校(3校)より講師を招き数学と英語の授業を行いました。中学校の学習がどのように高校につながっているか学びました。

■ スクールコラボによる「キャリア教育」
・「アニメプロデューサー講演会」〈10/9〉
チームとしてもづくりを行う仕事について学びました。

・3年「マナー教室」〈12/11〉
外部講師を招き、礼をつくす心得や所作について学びました。

② インターンシップ・教育実習の受入

将来、教職員を目指す高校生(卒業生を含む12名、7月・10月)、大学生(卒業生2名、7月・9月)が来校しました。大学生は授業をはじめ教員の業務全般を体験し、高校生は授業見学や学習支援、最終日には中学生へのプレゼンを行いました。自分の経験談を交え、中学生の勉強法や生活の心得、進路の見通しなど、対象学年に応じた内容で自作カードなどを使いながら工夫してお話しました。中学生は、「年の近い先生」から進路や将来像について多くの刺激を受けていました。

(3) 道徳授業の充実



考え、議論する道徳



助産師の講話



いのちの学習

① 「考え、議論する道徳」〈年間〉

アンケートや面談等による生徒の実態を調査した後、「考え、議論する道徳」の授業を全教員で担当を決めて実践してきました。

② 「思春期の生と性」を考える

思春期の悩みやお互いの理解、命の尊さや人権について考えを深めるため、「生」と「性」をテーマに特設授業を行いました。

■ 「多様な性の学習」〈7/19〉

■ 「いのちの学習」〈9/6・12〉
「思春期の心と体」「生命・人権の尊重」「いやな思いをなくすために」「SOSを出す勇気」「悩んでいる人へのサポート」などについて考えを深めました。

(4) 集団と自分の関わりを考えるための取組

- 周りは自分を認めてくれる 84% → 88%
- 学校に行くのが楽しい 81% → 81%
- 友人関係に満足している 89% → 91%
- 普通の生活で、幸せな気持ちになることがある 90% → 94% (R6.5月 → 12月)



hyperQU研修



教育相談



表彰伝達式

「挨拶じやんけんビンゴ」		
年 組 名 前		
学年の中で話したことがない人	自分と誕生日の月が同じ人	3人以上の先生
出席番号が近い人	他学年の人(1人)	同じクラスの人(5人)
3日連続挨拶じやんけんをする	生徒会書記局のメンバー	メガネをかけている人

生徒会企画

① 各種アンケートの結果の活用

全国学力・学習状況調査(4月)、いじめ等調査(5月・8月・11月・2月)、生活学習実態調査(5月・7月・12月)、心の健康観察アプリ(毎朝)や教育相談等を活用し、生徒の実態把握に努めるとともに、今後について考えさせる機会を設定してきました。

② hyper-QU調査〈5月、9月〉

学級全体と生徒個人の適応感を調べ、SOSのサインや、集団の中の関係性について確認し、指導・支援の参考にしてきました。

③ 教育相談〈6月、10月、随時〉

学習や生活、人間関係、部活や進路など、生徒が相談したいことを記載した教育相談シートを基に実施しました。人との関わり方や将来の姿など、いまの自分と向き合い、「これからすべきことは何か」、「将来どんな生き方をしたいか」考えを深める機会として実施してきました。

④ 全校集会・学年集会〈随時〉

各種大会で表彰を受けた団体・個人による表彰伝達式(全校集会)を行い、挑戦や努力を讃え合う場、感謝を伝える場として実施していきましました。また、学年協議会を中心に学年集会を行い、「より良い学校生活にするために」をテーマに呼びかけなども行ってきました。

⑤ 生徒会「いじめ防止」〈年間〉

「笑顔で楽しく過ごせる学校」づくりをテーマに、各種イベントや活動を企画し、交流を進めました。(写真はじゃんけんビンゴ)

<成果> 生活学習実態調査(12月結果)より

- 「人の役に立つ人間になりたい」と考えている生徒の割合は、96%と高い。進路を考える学習や、他者との関わりを通して、自分の将来の生き方について考えを深めてきた成果と考えています。

5. エリア連携の取組

～主に緑園中・開西小・森の里小の取組～

(1) 中学校教員による合同体育

<運動づくり教室> 6/12-21

本校の体育教師が開西小・森の里小に赴き、5・6年生を対象に2回ずつ(合計6回)「運動づくり教室」を実施しました。児童は目をキラキラさせながら熱心に取り組んでいました。

<合同体カテスト> 6/25-27

各小学校の5・6年生(合計6クラス)が1クラスずつ来校し、本校生徒と「合同体カテスト」を実施しました。中学生が動き方やコツをマンツーマンで教え、「いいよ」「上手だよ」と声をかけると、小学生はそれに応えるように、熱心に取り組んでいました。5種目の測定が終了し、最後に感想を聞くと、中学生からは「どんどん上手くなったね」、小学生からは「優しく教えてくれてありがとう」などの言葉が交わされました。その言葉や姿を見ると、中学生にとっては、一生懸命教えることで小学生の役に立ったと感じ、自己有用感を高めているようでした。また、小学生は教えてくれたことに感謝し、自分もあんな中学生になりたいと、あこがれの気持ちを持ってくれたようです。小・中学生がつながり、ともに高め合う良い機会となりました。

<体カテストサポート> 7/24

森の里小に本校生徒2年生が赴き、1～3年生の学年毎に体カテストのサポートをしました。中学生が一緒にいるだけで、無邪気に遊ぶ低学年児童の姿に生徒の表情はゆelmi、まるで保護者のように気遣い、笑顔で接していました。丁寧な準備や片付け、素早い整列、元気のいい挨拶に、小学生はあこがれの眼差しでした。そして、先生方も感じていました。生徒たちは普段の中学生としての学ぶ姿、そして普段とは違った保護者のような姿の両方を見せていました。

① 運動づくり教室



② 合同体カテスト



① 学習会



<小学生に教える緑園生>



<高校生に教わる緑園生>

<学習会> 夏:7/24-26、冬:12/25-27

■「小学生学習会」

開西小と森の里小の児童(のべ91名)が来校し、同じ教室で学習しました。中・高校生ボランティアが、学習サポートや会場案内を務めてくれました。

■「中学生学習会」

緑園中の生徒(のべ68名)が参加し、高校生・畜大生・地域ボランティアにサポートしてもらいながら、持参した宿題や復習、入試対策問題等を勉強しました。

<感想> ・学習会では、すごくがんばれた。(開西小)

- ・中学生のみなさんがやさしく教えてくれて、勉強にも集中できました。(森の里小)
- ・入試が近づいてきた中、学校の静かな雰囲気の中で集中して取り組みました。入試の実体験やアドバイス、応援の言葉もくれて、とても気持ちが高まりました。(緑園中)
- ・一生懸命頑張っている姿に元気をもらいました。もっと上手に教えたい。(大谷高校)

<夏休み体験学習>

■「親子お花教室」<7/25>

地域ボランティアが講師を務め、緑園中エリアの親子と教職員合わせて30名が参加し、思い思いに「夏の花」をアレンジしました。

■「親子理科実験教室」<7/26>

35名が参加し、ふるさと十勝の歴史や食文化、生物の体のつくりと働きについて学習しました。

- ・第1部 十勝の畜産業(歴史・加工)
- ・第2部 目のつくり(眼球解剖実験)
- ・第3部 目のはたらき(見え方実験)

<冬休み体験学習>

■「親子お正月飾り教室」<12/26>

地域ボランティアが講師を務め、緑園中エリアの親子72名が参加し、リースに南天、折り紙、水引などを組み合わせ、思い思いに「お正月飾り」をアレンジしました。

■「親子理科実験教室」<12/27>

大泉校長と畜大院生2名が講師を務め、近隣高校(大谷・白樺・三条・柏葉)の生徒がボランティアを兼ねて参加してくれました。合計50名で以下の内容を学習しました。(中学生は、9月に実施した「いのちの学習」(性教育)のオプションとしての内容が含まれています)

- ・A 岩石標本づくり →
- ・B いのちの学習 (遺伝、畜産業、生殖) ↓



<十勝の農場> <人工授精> <ぼうこう>

② 夏休み体験学習



<夏の花をアレンジ>



<眼球解剖実験の様子>

③ 冬休み体験学習



<お正月飾りをアレンジ>



<講師を務めた畜大生>



<標本づくりをする様子>



<子宮解剖実験の様子>

(2) 学習会・体験学習による児童生徒の交流

小中高連携を進めるため、夏休み・冬休みに3日間ずつ、地域の方や大学生にもご協力いただき、「学習会」と「お楽しみ教室」を実施しました。



学習ボランティアの皆さん

ボランティアには、緑園中・大谷高校・白樺高校・南商高校・三条高校・柏葉高校の生徒、畜大の学生、地域の方が、全イベントでのべ70名参加してくれました。



小学生に教える緑園生

同じ地域に縁のある小学生から大学生、保護者やボランティアが一堂に会して交流し、学び合う姿はとてもほほ笑ましいものでした。

<感想> ・お正月かざりも理科実験も楽しかった。(開西小)

- ・みんなできてうれしかった。(森の里小)
- ・ボランティアとして参加したが、実際に作ったり、解剖したり、教えたりして深く印象に残った。(緑園中)
- ・大学生がわかりやすく説明してくれ、苦手な単元でしたが楽しかった。岩石に興味がありました。(緑園中)
- ・たくさん的小学生・中学生と勉強を通して交流できてよかった。(白樺高校)

学校教育目標の達成に向けて

(3) 入学説明会・交流会

<新入生説明会> 2/13

本校を会場に、森の里小・開西小6年生と保護者を対象に実施します。この日は、緑園中3年生が中心となってイベントを運営し、午前は両小学生の交流会（アクティビティ）、校舎巡り、学校説明を行い、午後からは保護者向けの説明を行います。

<キャリアアップ学習会> 3/4

本校を会場に、森の里小・開西小5年生を対象に実施します。この日は、緑園中3年生が中心となってイベントを運営し、両小学生の交流会（アクティビティ）や、中学生の生活・学習についての紹介を行います。

① 新入生説明会



小6に説明する緑園生



質疑に答える緑園生

② キャリアアップ学習会



小5の交流を緑園生がサポート

(4) いじめ非行防止にかかわる児童会・生徒会の交流

<いじめ非行防止サミット> 6/27

本校・森の里小・開西小・大空学園をオンラインでつなぎ、児童会・生徒会で「一人一人が笑顔で楽しく過ごせる学校」をテーマに話し合いました。

<エリアサミット> 10/23

会議を経て、「交流と安心を生み出す取組」として、12月11～13日まで「挨拶じゃんけんビンゴ」を各校で実施しました。(p6に写真)

<大谷高校との生徒会交流> 11/13

合同研修会を行い、①リーダーに必要なことや、②学校生活の課題について話し合いました。

※生徒会を中心に近隣校と連携しながら「よりよい学校」を目指し、奮闘してくれています。

① いじめ非行防止サミット

② エリアサミット



児童会・生徒会役員

③ 大谷高校との生徒会交流



高校生と合同研修



(5) 教職員の連携会議・研修会

<緑園中エリア会議> 7/3, 3/7

校区内の安全マップの確認や、幼保小中の行事参観、職場体験などの交流の具体を話し合いました。

<小中連携会議> 随時

小中のなめらかな接続に向けた事業の企画や、学習と生活の約束、情報交流を行ってきました。

<小中合同研修> 随時

エリア公開研(10/11)や小中教員による授業参観「エリアDay」(7/17, 10/11, 11/11)の実施、特別支援教育研修会(12/16)等を実施しました。

① 緑園中エリア会議



教職員によるエリア会議

② 小中連携会議

③ 小中合同研修



エリア公開研

<成果> 各イベントでの姿・感想より

- 多くの交流を行うことができました。中学生の姿からは自己有用感の高まりが見られ、小学生の感想からは中学生へのあこがれや、入学を楽しみにしている声が聞かれました。
- 多くのボランティアの協力のおかげで、各種イベントを充実させることができました。とてもありがたいと思っています。今後も工夫しながら、取組を進めていきたい。

<学校教育目標>

学ぶ人・思いやる人・鍛える人

<目指す学校像>

すべての人にとって学校は楽しいところ
(ウェルビーイングを育む学校)

<目指す生徒像>

- (1) 意欲的で粘り強く、向上心旺盛な生徒
- (2) 明るくたくましく、心豊かな生徒
- (3) 力を合わせ、創意工夫する生徒

<教育活動の具体>

学校教育目標の達成に向けて、知・徳・体を一体で育む教育活動の具体として、①安全指導の取組、②学力向上の取組、③体力向上の取組、④豊かな心を育む取組、⑤小中連携（学びをつなぐ）の取組を行ってきました。(p1～8参照)

<目標達成の合い言葉「頑張ることは格好いい!」>

例え悪条件でもpositiveに、最善を尽くすことで得られる経験があります。その一つ一つが自信になり、人をたくましくしてくれます。「頑張ることは格好いい!」を合い言葉にしながら、そんな経験を一つでも多くプレゼントしたいと思い、取り組んできました。

【状況】生活学習アンケートより (12月末の全校平均)

<自己肯定感>

○自分には良いところがある … 78.9% (前年比+4.0)

<向上意欲>

○ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある … 98.7% (前年比+5.5)

○失敗を恐れず挑戦している … 78.5% (前年比+8.6)

○将来の夢や目標を持っている … 71.9% (前年比+6.6)

○人の役に立つ人間になりたい … 96.1% (前年比+2.5)

○自分で計画を立てて勉強をしている

… 71.1% (前年比+7.6)

○学校に行くのが楽しい

… 81.1% (前年比+3.0)

【今後に向けて】

※生徒の努力、保護者の協力により、昨年度に比べて全体的に向上しました。個々の課題に着目し、全ての生徒が向上していけるよう、(1)将来の目標（生き方）について考えを深める「キャリア教育」、(2)学び合いを支える「集団づくり」、(3)危険なとき、困ったときの対処法を体得する「安全教育」を通して、引き続き、知・徳・体を一体で育む教育活動の各取組を進めていきます。今後も学びの環境を保護者の皆さんと力を合わせてつくっていききたいと思っておりますので、よろしく願います。

※ 以上を参考にさせていただき、保護者アンケート（学校評価）への回答をお願いいたします。